

少年センターだより

発行



日野町少年センター

日野町河原1-1

TEL0748-53-1325

<https://syonen.jp>

日野町少年センター



昨年は、いわゆる「大麻グミ」を食べた人が体調不良を訴え、救急搬送される事件が相次ぎました。また、有名若手俳優が大麻所持で逮捕され、中学時代に大麻を使用していたと証言し、日本中を驚かせました。今、恐ろしい大麻の蔓延が心配されています。いわゆる「大麻グミ」は、大阪の会社で普通に製造され販売されていたり、神戸の民家で開かれたイベントで配られていたりしました。SNS等を通じて、簡単に手に入る状態になっています。グミだけでなく、クッキーやチョコレートなどもあり、誰もが好むお菓子に、大麻の幻覚成分が混ぜられています。こうした大麻が出回る背景には、一部の外国で大麻の使用が認められており、様々なものに形を変えて販売されている現実があると、新聞は伝えていました。

間違っていないか？「大麻は有害」です！

一部の外国で「大麻」の使用が認められているのは、その国独自の事情があるからです。決して、害がないものだと認識していません。現にWHO（世界保健機関）は大麻の害として、脳機能や呼吸器の障がい、うつ病等の精神障害などのリスクがあるとしています。また、青少年期に大麻を常用すると、後にやめたとしても脳の機能が完全には回復しないとしています。

さらには、大麻を使用して一旦陶酔感などを味わうと、それが記憶として定着し、再び体験したいという欲求から乱用を繰り返す「依存状態」になってしまいます。特に「大麻」は知らず知らずの間に依存状態になりやすいと言われています。

「なにげない日常、大麻に壊させないで。」(警察庁) 「はっきり、きっぱり」断りましょう！

警察庁では、「大麻は有害です。」「大麻の所持は違法です。」「誘いには乗らない。」の3点を挙げ、現在の幸せでなにげない日常が、大麻によって壊されないように呼び掛けています。また、法律もより厳しく改正されました。しかし、法規制よりも早く魔の手は迫ってきます。電子タバコにも使用できる液状の大麻も出回ってきています。(液状の大麻は有害性や依存性が高いとまで言われています。)

大麻は有害であることを知り、違法であることを知り、決して誘いに乗らず断ることが大切です。間違った情報に流されず、正しい知識で判断しましょう。



悩んだ時は、相談！

滋賀県立
精神保健福祉センター
☎077-567-5010

滋賀県民の声 110番
☎077-525-0110

滋賀県業務課
☎077-528-3634

子どもたちは学校で学んでいます！

薬物乱用防止については、町内の小学校、中学校、日野高校でも学習を積んでいます。

小学校では、日野町少年センター、日野ライオンズクラブ、東近江警察署生活安全課が協力して、6年生を対象に授業を行っています。喫煙や飲酒が未成年にとってなぜいけないのかを一緒に考え、身体の不調を治す薬の話と同時に、身体の害になる薬、いわゆる有害薬物の危険が身近に迫ってきていることを話し、絶対に手を出さないように訴えています。



中学校では2年生を対象に、最近の薬物事情を踏まえながら、絶対に手を出さないことと同時に、誘われた時の断り方や、手を出している仲間を助けるために誰かに相談する大切さを訴えています。ここ数年は、びわこリハビリテーション専門職大学の谷川先生に講師をお願いしています。

日野高校では、「びわこDARC（ダルク）」という、実際に薬物に手を染めたがその薬物から解放されるためのプログラムを実施している施設の方に来ていただいて、体験談や薬物の恐怖について、直に語っていただいて学習をしています。

どの学校でも、一人で悩まないで、身近な大人に相談することが大切だと訴えています。地域の皆さんも日頃から子どもたちのそばで見守ってやっていただきますようお願いいたします。



子育て小窓

「虫さん、かわいいね」。2歳の娘が家の前で、ダンゴムシやアリを見つけてそう話しかけてきました。恥ずかしながら私は虫が苦手で、近くで見たり触ったりできません。いつも虫を見つけると、つい「気持ち悪い」と言ってしまいます。この時も、ついそういったネガティブな言葉が口をついて出そうになったのですが、私の言葉を聞いた娘が、『虫って気持ち悪いんだ』とってしまうのでは…と思い直し、なんとか「そうだね、かわいいね」と返すことができました。

子どもは経験が足りていないがゆえに、純粹でまっさらな感性で世界と触れ合っています。極端な話ですが、「虫がかわいい」という感性が昆虫への興味に変わり、将来昆虫学者になる道が開けるかもしれません。そういった可能性を、親のバイアス(偏った先入観)から来る何気ない一言で潰してしまうのはもったいないな、と感じました。

親が発している行動や言葉を、子どもは思った以上に見たり聞いたりしています。普段から、子どもの純粋な気持ちや感性を否定しない、邪魔をしないふるまいを心がけたいものです。

(日野町子育て・教育相談センター H)

「子ども・若者の居場所づくり(子ども・若者プレイス)」

日野町立図書館 館長 長谷川 毅

昨年9月から図書館の視聴覚室を「子ども・若者プレイス」と名付けて、基本的に毎週金曜日午後2時から午後9時の閉館まで、飲食や会話ができる(Wi-Fiも利用できる)主に中高生を対象とした子ども・若者の居場所を開設しました。

中高生の図書館利用を増やしたいという理由もありましたが、9月は18歳以下の子ども・若者の自殺が一番多いといわれていることから、生きづらさを抱える子どもたちに寄り添えることはないかと考えて始めたものです。

日野町立図書館が考える居場所は、単なる学習スペースではありません。図書館の職員や地域の大人が関わり、子ども・若者たちの声を聴き、彼らと共につくる居場所になることを目指しています。そこで、居場所にはメッセージボードを置きコミュニケーションの機会を設け、昨年は居場所に関する講座や中高生の交流を図るゲームイベントを開催しました。

また、図書館の居場所は、当事者自身が居心地の良さを感じる場所になることはもちろんのこと、図書館ならではの力を生かし、子ども・若者の持つ可能性が開ける場所になりたいと思っています。地域における居場所は、図書館だけでは十分とは言えません。様々な子ども・若者に寄り添う多様な居場所が地域にあることが、まちの暮らしやすさにつながると思います。図



書館における居場所が、地域の多様な居場所とつながり、少年センターをはじめ関係機関、各種団体等との連携や住民協働の取り組みから、地域みんなで子ども・若者の育ちを支え、誰ひとり取り残さない「学びからはじまるまちづくり」につながるよう事業を進めてまいりたいと思います。

つぶやき

私は若いころ、華道・茶道・武道を習っていました。毎夜毎夜稽古に出かけたものでした。楽しかったのですが、礼儀作法などでは失敗の連続で、よく恥をかいたものでした。今思うと、色々な失敗と経験は最高の教師だったと感じています。また、自分が習得した技術は盗まれることはなく、他人に伝えることができるものです。子どもや若者たちにも、失敗を恐れず、陽気に、元気に、生き生きと何事にもチャレンジしてほしいと願っています。そして、たとえ失敗したとしても、一つ成長したと捉え、温かく見守れる大人になりたいと思っています。皆さん、頼れる自分と、楽しく頼れる仲間とともに、人生を楽しみましょう。私は、今後も仲間と助け合いながら、補導委員活動を続けていきたいと思っています。

少年補導委員 吉澤 茂樹

すくすく育ってね!

コロナ禍で、大声をあげての声掛けができない中で、地域のおっちゃん、おばちゃんからの願いやメッセージを伝えるために、この「青パトだより」を掲示することにしました。令和2年11月から各学期に1枚ずつ作成し、現在11号を掲示しています。啓発ほどの仰々しいものではなく、また生活上の注意だけではなく、家族との会話や、地域の声掛けが少しでも増え、子どもたちを見守る雰囲気が日野町に広がっていけば素敵だなという願いを込めて作成しています。小学生向けの掲示物ですので、1年生から6年生までをターゲットにした内容にするのは難しいですが、「すくすく育ってね!」の思いを込めて作成しています。

日野町少年補導委員会 広報部会長 安田 均

東近江署管内の非行状況

— 東近江署管内では、増加の傾向にあります —

令和5年中の東近江署管内の少年の検挙・補導状況

		令和5年	令和4年	前年比
刑法犯少年	犯罪少年	65	21	+44
	触法少年	29	11	+18
	小計	94	32	+62
特別法犯少年		1	5	-4
ぐ犯・不良行為少年		475	306	+169
合計		570	343	+227

刑法犯少年検挙・補導状況

- ・罪種別では、最も多い万引き17人を含む窃盗犯が全体の45%を占めており、次いで暴行や傷害等の粗暴犯が約22%を占めています。

不良行為少年補導状況

- ・行為別では、喫煙が最も多く172人、次いで深夜徘徊140人、怠学95人、粗暴行為23人、飲酒19人、家出15人、その他9人、無断外泊および不良交友それぞれ1人を補導しています。



おうちの人に今日のことを



みなさんは、一日、勉強やあそびにがんばっていることを、おうちの人に話していますか? 自慢していますか?
今日のことを話すことは、みなさんにとっても、おうちの人にとっても、大切なことなのです。身ぶり、手ぶりをつけながら、いっぱい話してくださいね。どんな気持ちだったかも、話してみよう。

「今日はどうだった?」って聞かれて、こまったら。

- ♡ 給食のメニューをおしえてあげよう。(おいしかった! 苦手だった!)
- ♡ 友だちと遊んだことを伝えよう。(楽しかった! つかれた!)
- ♡ できるようになったことを自慢しよう。(うれしかった! がんばった!)
- ♡ 先生が話していたことを、おしえてあげよう。(おもしろかった! はじめて知った!)
- ♡ 失敗したことをつたえよう。(かなしかった! はずかしかった!)
- ♡ お母さん、お父さんは、今日、どうだった?

ひのちやうしょうねんぼどういんかい 日野町少年補導委員会
ひのちやうしょうねん 日野町少年センター



ひとりで悩まないで まずは相談を!

少年センターでは、少年に関する悩みや心配ごとの相談を行っています。お気軽にお越しください。秘密は厳守します。

○来所相談 ○電話相談 ○メール相談

○来所・電話：月～金 9:00～16:30 ○日野町勤労福祉会館 2階

電話：0748-53-1325 E-mail：hino@syonen.jp HP：<http://syonen.jp/>

日野町少年センター

